

南九州マツダ 健康宣言

当社の企業理念に沿い、お客様の豊かなカーライフを実現するためには、社員一人ひとりが健康で生き活きと働くことが不可欠です。当社は、会社の成長を支える社員と家族の心身の健康を最重要財産と捉え、健康保持・増進活動に対する積極的な支援と組織的な健康づくりの推進によって、社員が生き活きと働くことで、豊かで快適・健康な社会生活と経済の発展に貢献する会社を目指します。

株式会社南九州マツダ
代表取締役 工藤勝正

南九州マツダ 健康管理方針（2019年8月1日制定）

第1条（目的） 当社は、「南九州マツダ健康宣言」に基づき、社員及び家族の心身の健康保持・増進と健康で快適な職場環境の形成を目的として、健康管理についての方針を定める。

第2条（態勢） （1）当社は、健康管理を推進・実施するため、代表取締役社長を責任者とする健康経営推進チームを組織する。

（2）健康経営推進チームは、健康管理に関して年間あるいは中期的な実施計画を定め、衛生委員会等とも連携しつつ、実施計画を推進する。

第3条（取組内容） 当社は、社員一人ひとりが心身の健康保持増進に自律的に取り組めるよう、健康づくりを支援する。法令遵守を基本とし、予防医学の見地から、以下の枠組みを体系的かつ包括的に健康管理を実施する。

（1）0次予防：職場のコミュニケーションの活性化等により、職場の環境を改善に資する取組を推進する。

（2）1次予防：研修等による社員への健康啓発や予防接種の実施等により、「疾病予防」に資する取組を推進する。

（3）2次予防：健康診断等の実施徹底や健康診断後の保健指導等により、「疾病の早期発見・早期措置」に資する取組を推進する。

（4）3次予防：休業と職場復帰制度などの規定や体制の整備等により、「疾病の再発防止・重症化予防」に資する取組を推進する。

健康経営推進チーム（23名）

代表取締役社長を責任者とする役員等経営責任者、健康保険委員、看護師からなる健康推進チームを組織し、全国健康保険協会や産業医等と連携し、健康経営取組計画の策定、実施、検証を実施して参ります。また、取り組みや検証の結果を株主・取締役会・経営会議等で討議し、更なる改善取り組みを推進して参ります。

南九州マツダの健康課題

現代社会において高ストレス者の割合が急増しておりますが、当社においても同様の懸念

が推察され、数年前より働き方改革やキャリアサポート、社員間のコミュニケーション対策に注力して参りました。しかし、一部の専門職に高ストレス者が上昇傾向にあり、業務負担の軽減が課題となっています。また、健康診断後の2次検診や任意健診、特定保健指導の受診者割合が低いことから、健康管理に関する社員の意識が低いと推察されます。

健康課題改善の具体的な取り組み

- ・管理職や従業員へ健康に対する研修や情報提供を行い、健康リスクと当社の現状を認識してもらい、職場の健康意識を高めて参ります。
- ・始業時の体操やストレッチ、自動販売機へのカロリー表示や特定保健用飲料の設置、万歩計や血圧計などの健康器具の活用、熱中症対策など、職場環境の更なる整備を図って参ります。
- ・ITシステム化やノー残業デー、マネジメント層の支援を更に高め、チームワークで業務に取り組み、心身の負担を軽減して参ります。
- ・スポーツイベントの開催やサークル活動支援を継続し、運動習慣の定着を支援して参ります。
- ・社内外の健康相談窓口の早めの活用や任意健診の更なる活用を積極的に促進し、早期発見・早期治療を促します。
- ・感染症予防接種や被扶養者の特定健診などへの補助支援を、引き続き実施いたします。
- ・GLTDや配置転換、ならし勤務など、治療と職場復帰の両立支援を引き続き実施いたします。